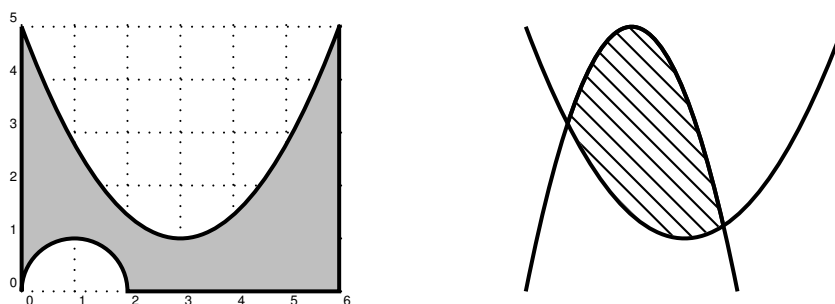


いくつかの種類の曲線・折れ線をつなげてひとつの図形を使いたい場合もあります。そのときは `pscustom` を用います。始点と終点を指定するタイプの図形の場合は、前の図形の終点が自動的に始点になりますから、始点を省略できます。そうでない場合は、前の図形の終点と次の図形の始点が線分で結ばれます（この動作は変更することができます）。例えば下のように用いると放物線、折れ線、円弧、線分がひとつの図形を作ります（下図左）。これを用いれば、下図右のような絵を作図できます。

```
\pscustom[linewidth=1.5pt, fillstyle=solid, fillcolor=lightgray]{ % このオプションは有効
  \parabola[fillstyle=vlines, linewidth=3pt](0,5)(3,1) % こちらのオプションは無視される
  \psline(6,0)(2,0) % (2,0) は省略可能
  \psarc(1,0){1}{0}{180}
  \psline(0,5)}
```



直前の図形の終点をどう扱うかは、次の図形のオプションの中で `liftpen` の値を 0, 1, 2 の中から選んで次のように指定できます。

- `liftpen=0` と指定：通常動作です。直前の図形の終点は次の図形の始点になります。
- `liftpen=1` と指定：直前の図形の終点は次の図形の始点とはなりません。その 2 点は線分で結ばれます。
- `liftpen=2` と指定：直前の図形の終点は次の図形の始点とはなりません。その 2 点は線分で結ばれません。

例えば次のように記述すると下図の左のようになります。 `liftpen` の値を 1 や 2 に変えると下図中、下図右のようになります。

```
\pscustom[linewidth=2pt, fillstyle=solid, fillcolor=lightgray]{
  \pscurve(0,2)(1,2.5)(2,1.5)(4,3)
  \pscurve[liftpen=0](4,1)(3,0.5)(2,1)(1,0)(0,0.5)}
```

